

# 一般社団法人おもやい

## 2022 年度 事業報告

### □はじめに

今年度は、一般社団法人おもやいにとって更なる躍進の年となった。休眠預金活用事業を通じて新たな拠点を整備したことで、これまでの取り組みをさらに腰を据えて活動することができる環境づくりへとつながった。これも多くの方々のご支援・ご協力の賜物であり、おもやいに関わる全てのスタッフが継続して活動に取り組んできた成果である。

一方で、そうした事業に分化していくことでより密な団体内での連携が求められることとなり、そうした部分ではまだまだ改善の余地があるとも言える。

さらには他団体、特に佐賀災害支援ネットワークとの協働事業などもかなり増加していることから今後のワークバランス、特に当団体における事業の優先などを検討する必要があると感じている。

### □地域内活動

#### 1. 訪問活動（新型コロナウイルス感染対策活動・生活困窮の方々へのサポート含む）

継続しての訪問活動をオカベース、（一社）みんなの居場所はちとちと共に実施。特に気になる方へは必要に応じて関係機関へとお繋ぎするなどの対応を行なった。訪問活動が重要であると認識している。

また、県外からの団体（兵庫県立大学、レスキューストックヤードなど）による不定期の訪問により日常的にお会いすることで気づかないところをカバーしてもらうなど、県外からの応援の必要性も改めて確認することができた。

また、味の素冷凍食品株式会社より冷凍食品の提供が継続的にしていただいていることから、こうした食品を活用して訪問の継続の後押しになっている。

#### < 棚づくり事業 >

訪問と関連しながら、建築プロンティアネットと協働で水害対策の一環として生活環境内に新たに棚を設置する事業を実験的に実施した。対象世帯数は 13 件、それぞれの生活様式に合わせながら必要な場所に棚づくりを行った。（休眠預金活用事業により実施）

#### 2. イベント事業

今年度も旧北方幼稚園を活用させてもらい、イベントなどを実施。その後は新たに新拠点を整備したため、10月から毎月1回のイベントを実施した。

6月 おもやいフェス 100名（

7月 いやしの日 4名

8月 いやしの日 8名

9月 いやしの日 8名

10月 いやしの日 12名、「地域共生センターそよぎ」オープニングイベント50名

- 1 1月 「地域共生センターそよぎ」お披露目会25名、いやしの日12名
- 1 2月 いやしの日 12名、クリスマス会 70名

**【出店】**

- 3月 さが＊ひな市
- 5月 武雄市防災フェスタ
- 7月 鹿島市JCフォーラム
- 9月 LUSH 筑紫野店で活動紹介、武雄市物産まつり
- 10月 認知症共生フェスタ
- 11月 大町町サンマ祭り

**3. 会員制「おもやい防災あんしんセット」の実施**

2020年度から実施している防災あんしんセット事業は、助成金などを活用して昨年度の250世帯から446世帯へと会員世帯が増加。地区も武雄市、大町町に加えて、2021年の豪雨で被災した嬉野市の防災重点地区である自治会も会員として加盟することとなった。

市町	町	地区	世帯数
武雄市	北方町	久津具	25
		焼米	10
		追分	10
		掛橋	9
		木の元	1
		北方	3
		高野	17
	朝日町	高橋	111
		南上滝	2
		甘久	1

市町	町	地区	世帯数
武雄市	橘町	小野原	32
		沖永	25
		南片白	9
大町町		下瀨	52
		中島	24
		恵比須	7
		大黒	70
		その他	8
嬉野市	嬉野町	大舟	21
その他			15
合計			446

また、すでに加盟されている会員世帯へは、セット内の食品の配布会を実施すると共に、できずに合わせて改めての防災グッズの使い方や、その他の防災グッズなどの紹介を行うなど、水害への啓発活動を合わせて実施した。

<あんしんセット配布会>

- 2月 防災あんしんセット座談会 8名
- 4月 朝日町高橋区防災あんしんセット配布会&防災グッズ紹介 100名
- 5月 橘町沖永区防災あんしんセット配布会&防災グッズ紹介 30名  
橘町小野原区防災あんしんセット配布会&防災グッズ紹介 30名
- 6月 大町町下瀨区防災あんしんセット配布会&防災グッズ紹介 30名

#### 4. ボランティア活動

##### <県内活動>

主にフードリンク事業での相談業務を通じて、サポートが必要な世帯へ簡易的なリフォームや修繕などを実施した。また訪問活動における相談から実施する活動もあった。

活動内容は主に、家屋の修繕や家財道具の移動など生活環境の改善に寄与するものが多い。

また、嬉野市においては 2021 年の水害後からつながりのできた大舟地区へ定期的なサロンを嬉野市の保健師や社協と連携しながら実施した。(10 月にて終了)

また継続して味の素冷凍食品株式会社からの冷凍食品の提供により、こうした食品を活用させていただき、関係機関や必要とされる方々への配布を継続して実施し、そこから各町の地域包括ケアシステムの取り組み拠点への活動サポートへと展開されてきた。

今後、この地域の方々の取り組みを後押ししていくためのも、この事業を継続させていく。

##### <県外活動>

今年度は宮崎県延岡市を中心に豪雨による災害が発生したため、宮崎文化本舗、YNF と協働して被災家屋のサポートを実施。主には被災した世帯への家屋の清掃活動、また訪問活動を YNF を中心に実施。今後も YNF を中心に宮崎文化本舗と共に宮崎のサポートを実施する予定。

#### 5. 大町町における多世代交流拠点整備・運営事業サポート

元々大町の地域おこし協力隊が行う事業へのサポートを計画していたが、おもやいの事業の兼ね合いなどもあり、大町でのサポートは実質できなかった。今後も大町の活動に連携をしていく。

#### 6. 「おもやいフードリンク」事業の実施

昨年度に引き続いてよりみちステーションと協働で月 1 回の配布会を実施した。

##### <配布会実績>

LINEの登録世帯数 7 4 世帯 2 7 9 名 (大人108名、子ども171名)

内やり取りがある世帯 6 5 世帯 2 4 7 名 (大人 97 名、子ども 150 名)

1 回 1月21～23日 定例配布 4 5 世帯 1 6 8 名(大人70名、子ども98名)

2 回 2月25、27日 定例配布 4 7 世帯 1 8 1 名(大人76名、子ども105名)

3 回 3月随時 冷凍食品配布 1 0 世帯 4 4 名(大人12名、子ども32名)

4 回 3月27、30日、4月1、4日 お弁当配布 4 7 世帯 1 8 0 名(大人69名、子ども111名)

5 回 4月26、27日 定例配布 4 2 世帯 1 7 7 名 (大人69名、子ども108名)

6 回 5月24、25日 定例配布 4 9 世帯 1 9 5 名 (大人80名、子ども115名)

7 回 6月28、29日 定例配布 4 8 世帯 2 0 0 名 (大人76名、子ども124名)

8 回 7月18、19日 定例配布 4 9 世帯 1 9 2 名 (大人76名、子ども116名)

9 回 8月2、3日 定例配布 5 1 世帯 2 0 9 名 (大人82名、子ども127名)

10回 8月23、24日 定例配布 4 7 世帯 1 8 1 名 (大人70名、子ども111名)

11回	9月13、14日	定例配布	54世帯	209名（大人84名、子ども125名）
12回	10月18、19日	定例配布	55世帯	206人（大人81名、子ども125名）
13回	11月15、16日	定例配布	55世帯	202人（大人81名、子ども121名）
14回	12月8、9日	定例配布	61世帯	218人（大人88名、子ども130名）
15回	12月19、20日	定例配布	62世帯	228人（大人89名、子ども139名）

#### ○配布回数

- ・定例配布 13回
- ・お弁当配布 1回
- ・味の素冷凍食品配布 4回
- ・フードバンクさが 6回
- ・サンフレッシュ 1回
- ・受験生向け問題集配布 1回
- ・衣類配布 1回
- ・武雄ベーカリーさんより 多数のご協力
- ・野菜配布 地域の方から多数のご協力
- ・Civic Force さんからの物資の提供のご協力

特に、武雄市においては武雄市こどもの貧困対策課・こどもの笑顔コーディネーターという学校の先生のOB・OGの方々が各学校に配属されており、その方々との連携により利用世帯数の増加という点が挙げられる。

また、調達している食材についてはフードバンクさがをはじめとする関係団体との連携により定期的、突発的な配布に対応しながらフードリンクご利用世帯へはLINEによるお知らせなどが一定程度定着しており、急な食材配布にも対応することが可能となっている。

一方で、利用されている方々の今後のサポートというところまではまだまだ至っておらず、その都度側面的なサポートを実施しているが、この事業が今後さらに拡大していくことも想像できるため、そうした対応を各種関係団体と連携を意識的に行いながら実施していくことが求められる。

#### <子ども食堂>

地域共生センターそよぎが開設されたことで、定期的に子ども食堂「そよぎ de ごはん」を（一社）みんなの居場所はちほち、また地域のボランティアの方々と共に実施。今年度は2回の実施だったが、今後も継続して地域の方々を巻き込みながら実施していく。

11月23日 来場者51人（こども24人、大人18人、ボランティア9人）

12月11日 来場者26人（こども11人、大人9人、ボランティア6人）

#### 7. 防災に関する勉強会・講習会の実施

## 【防災教室】

- 5月 北方町掛橋区老人会防災教室 20名、  
北方町防災料理教室 7名
- 6月 朝日町公民館防災講座 30名  
武雄市子育て支援センター支援員さん向け防災教室 25名  
伊万里市癒の屋リアン防災教室 20名  
北方町サロン代表者会防災教室 25名  
橘町区長会・消防団勉強会 50名
- 7月 J A 橘営農部防災教室 16名  
白石町法泉寺防災教室 22名  
久津具地区防災教室 10名
- 8月 御船小学校児童クラブ防災教室 45名  
橘小学校児童クラブ防災教室 35名  
久津具地区防災教室 6名  
嬉野市不動山地区防災サロン 8名  
久津具地区防災教室 8名
- 9月 武雄市防災減災課と共同で武雄町小楠区の防災教室  
武雄市総合防災訓練参加 60名  
コープさが防災教室 20名  
久津具地区防災教室 8名  
大牟田の方へ防災教室3名
- 10月 江北町みんなの公園防災フェス防災講座 10名
- 11月 橘町防災講演会で防災グッズ紹介 100名

今年度も、武雄市における出前講座に登録することで、これまで連携の実績から、地域からの要望に対応することができた。この事業も重点事業として位置づけ、地域とのつながりのきっかけともなる事業であるため、次年度以降も取り組んでいく。

一方で今後提供できるメニューを増やしていくことも検討しながら随時実施していく。

## 8. 相談窓口の設置

今年度、休眠預金を活用して新たな相談窓口を設置することとなった。またそれによって各種相談を電話で受けられる状態になったため、更なる相談の増加へとつながった。

フードリンク事業と関連するが、こうした各種相談についてもやはり当団体単独で対応することが難しいケースが多く、今後もさまざまな団体との平時からの関係づくりが重要であることが確認された。

## 9. 武雄市・大町町との連携会議への参画

#### <武雄市>

これまで武雄市との共有会議を継続して行なってきたが、新たに今年度から SPF が加わり、改めて今後の災害時における連携について模索するため、会議を継続してきた。

令和元年、令和3年と2度の経験から今後の改善点を明らかにしながら、どのように武雄市とCSOが連携を行っていくのか、「避難所運営」「物資の調整」「炊き出しの受入・調整」という3つの観点から具体的な方策について検討している。

現在確定されているルールとしては、災害が発生するかもしれない、そのための準備室等が市役所内に開設された段階から SPF と武雄市市民協働課と連絡を取り合い、次の段階へと備える、ということまでが確認された。

今後、より具体的な連携・役割分担をしていくことでよりスムーズな被災者への支援体制を構築することを目指す。

#### ■実施回数

2月17日	武雄市連携会議
5月9日	武雄市連携会議
6月10日	武雄市連携会議
6月10日	武雄市・武雄市社協との災害ボラセンに関する会議
9月4日	佐賀県・武雄市防災訓練
11月11日	武雄市連携会議

#### ■武雄市立地適正化計画策定委員

令和3年11月から5回の委員会に参加。

#### <大町町>

大町町では継続して連携会議を実施されているが、今年度はそれほど積極的に参加することができなかった。

一方で大町町地域おこし協力隊との密な連携を各種事業を通じて行うことができたため、この体制を維持しつつ、次年度以降についてはより積極的に、協定を結んでいる大町町への協力を図っていく。

#### ■参加回数

2月16日	大町町連携会議	6月22日	大町町連携会議
3月2日	大町町連携会議	8月25日	大町町連携会議
3月24日	大町町連携会議		

#### □その他

##### 【講演、講座、視察受入等】

1月8日	関西学院大学復興フォーラム
1月25日	コロナ禍での災害支援考察（五ヶ瀬自然学校主催）
3月13日	防災講演会（白石町はぐはぐ）

3月22日	武雄市健康課災害時研修
3月23日	日本財団オンライン報告会
5月13日	JVOAD全国フォーラム
6月25日	鹿島市防災拠点お披露目会（佐賀未来想像基金・DIWA）
6月28日	災間の災害復興研究会（大阪大学）
6月29日	学校安全教育指導者研修会（佐賀県教育委員会）
7月3日	佐賀県JCフォーラム
7月11日	鳥栖JC講演会
7月12日	白石高校ボランティア活動研修
7月13日	武雄市民大学
7月19日	シャンティ国際ボランティア会キックオフ勉強会
8月4日	災間の災害復興研究会（大阪大学）
9月1日	CIvic Forceオンライン勉強会
9月9日	災間の災害復興研究会（大阪大学）
9月13日	白石高校総合的学習の時間講演
9月14日	九州大学武雄ラボ講座
9月27、28、30日	鳥栖市田代社協講座
10月1日	レスキューストックヤードコーディネーター養成講座
10月5日	八代市坂本町民児協視察
10月21日	災間の災害復興研究会（大阪大学）
10月22日	ぼうさいこくたいワークショップ
10月27日	長岡科学技術大学フォーラム
10月31日	佐賀県新入教職員研修
11月4日	「地域コミュニティレジリエンスを育むための隙間デザイン」ワークショップ （神戸大学）
11月10日	小郡市大原校区協働のまちづくり協議会防災部会視察
11月14日	武雄町民生委員児童委員研修会
11月17日	福岡市南区自衛消防隊連絡協議会研修
11月26日	熊本学園大学社会福祉研究所研究会

#### 【参加会議等】

<SPF関連>		4月5日	研修センター会議
1月14日	SPF会議	4月15日	研修センター会議
2月26日	SPF葉隠会議	4月19日	政策提言会議
3月18日	研修センター会議	5月2日	研修センター会議
3月29日	研修センター会議	5月10日	研修センター会議
4月1日	政策提言会議	5月24日	研修センター会議

5月24日 政策提言会議  
5月31日 研修センター会議  
5月31日 葉隠会議  
6月6日 研修センター会議  
6月11、12日 研修講座  
6月17日 避難者支援会議  
6月18日 SPF運営会議  
7月9、10日 研修講座  
7月15日 避難者支援会議  
7月23日 研修センター会議  
8月8日 佐賀県協働事業  
8月9日 研修センター会議  
8月19日 避難者支援会議  
8月29日 避難者支援会議  
8月31日 令和4年度佐賀県防災トップセミナー

9月10日 研修講座  
10月11日 研修センター会議  
10月23日 研修センター会議  
10月25日 SPF運営会議  
11月27日 SPF研修センター会議  
12月17、18日 研修講座  
12月20日 葉隠会議  
12月26日 運営会議

<その他関係会議等>

2月6日 日レス新拠点お披露目会  
2月15日 佐賀県協働研修  
2月18日 中間支援組織情報交換会  
10月7日 中間支援組織情報交換会  
10月7日 食支援ネットワーク会議  
12月15日 中間支援組織情報交換会